

モーツァルト生誕 250 年記念 「著名音楽家の書簡」展

ごあいさつ

聖徳大学人文学部音楽文化学科においては、クラシック音楽を基礎に、現代社会で幅広く活躍できる音楽家、舞踏家、音楽教育者、音楽療法家などの育成に努めています。その教育の一環として、実物資料を教材として取り上げ学生に体験させています。そのため、教育用のコレクションを、わが国はもとより、世界のあらゆる地域から収集しております。特に、音楽関係資料については丹念な収集に努めており、本学の教育学術資料コレクションの中核を占めています。なかでもモーツァルトの自筆譜や著名音楽家の書簡などは大変貴重な資料です。

本年はモーツァルト生誕 250 年にあたります。この偉大な音楽家モーツァルトの生誕の地であるオーストリアのザルツブルクでは、さまざまな催し物が開催されておりますが、本学では「モーツァルト in 聖徳 2006」を展開し、国際シンポジウムやコンサートなど数多くの行事を追憶します。その一環としてここに本学所蔵の音楽資料の一部を公開いたします。

今回展示しますモーツァルトの自筆譜（K.185）は、彼が3度目のウィーン旅行の途にあった1773年7月に発表された作品で、ザルツブルク大学の修了式で演奏された音楽です。

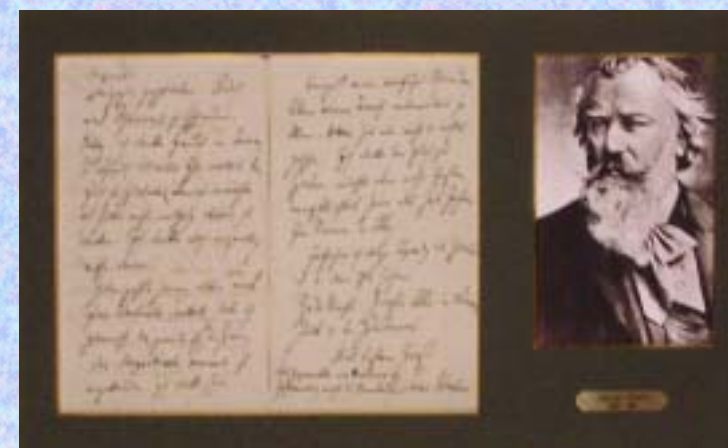
この機会により深く音楽を理解され、音楽のすばらしさを知り、心の安らぎが得られることを願っております。

平成18年10月10日

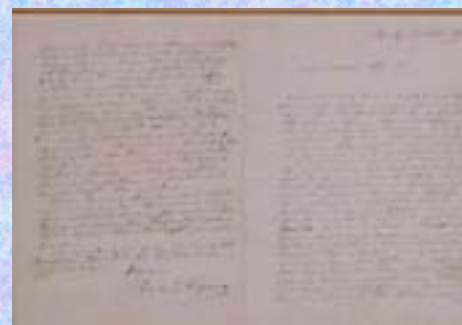
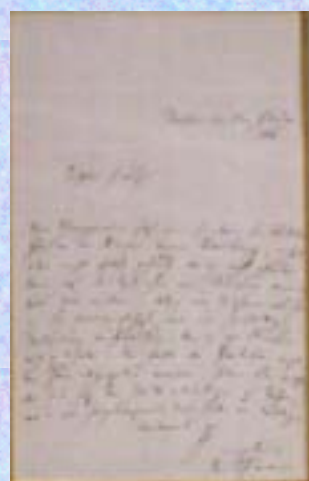
学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘昭

著名音楽家の自筆書簡

モーツァルト没後の音楽家でモーツァルトから影響を受けた方々の書簡を初公開します。私達が曲から思い描く音楽家のイメージとは異なり、一人の人間らしい豊かな感性を感じさせる書簡ばかりです。



ブラームス (1833 ~ 1897)

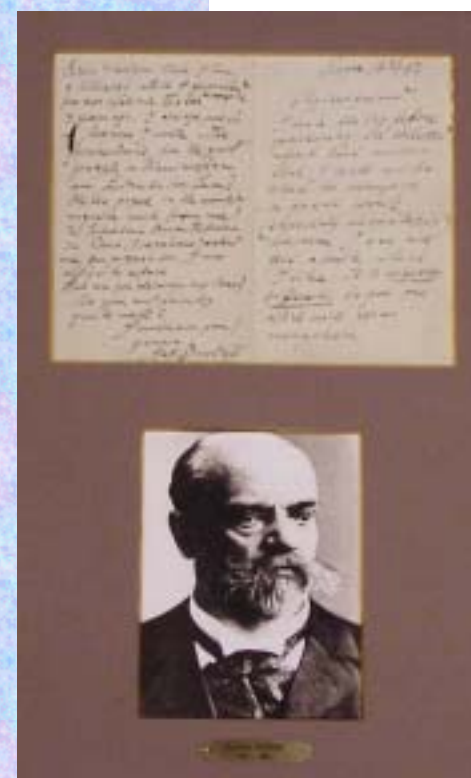


翻訳 (冒頭の一部分)
尊敬する友よ、
たった今、義父から聞いたのですが、私の「序曲」をあなたがすでに印刷したということです。多分彼の聞き違いでしょう。・・・

シューマン (1810 ~ 1856)

翻訳 (冒頭の一部分)
親愛なる友へ、
君の変わらぬ献身的な友情に対し、今ようやく感謝の気持ちを伝えることができるのです。こんなに遅くなってしまったことを、どうぞ怒らないで下さい。・・・

ワーグナー (1813 ~ 1883)



ドヴォルザーク (1841 ~ 1904)



プッチーニ (1858 ~ 1924)

SEI
MOZART
2006
KU



フランク (1822 ~ 1890)



ラロ (1823 ~ 1892)

展示予定の音楽家

ベルリオーズ、シューマン、リスト、ワーグナー、ヴェルディ、グノー、フランク、ラロ、ブラームス、サン＝サーンス、ドリーブ、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、マスネ、グリーグ、リムスキー＝コルサコフ、フォーレ、デュパルク、ダンディ、プッチーニ

モーツァルト in 聖徳2006

SEI
MOZART
2006
KU

主催：聖徳大学

後援：オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、オーストリア政府観光局

ドイツ観光局、松戸市教育委員会、日墺文化協会、日本音楽表現学会、日本モーツァルト愛好会

協力：日本モーツァルト研究所

会 期：平成 18 年 10 月 10 日（火）～平成 19 年 2 月 28 日（水）
午前 9 時～午後 5 時（休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日）
会 場：聖徳大学 8 号館 利根山光人ギャラリー
会場への案内：JR・新京成線とも松戸駅下車、東口より徒歩 5 分

発行・お問い合わせ：聖徳大学川並記念図書館
T e l : 047 - 365 - 1111 (大代)

